

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年4月16日 NO.2

モンタ博士「さあ、今日もいいお天気だ。みんなで『春』を見つけにてくてくしよう。」

花ちゃん 「春の風って、とっても気持ちいいね。」

オー君 「大きく深呼吸（しんこきゅう）して、春をいっぱい感じるんだ。」

花ちゃん 「お花もいっぱいさいてるわ。見て見て！タンポポがいっぱいさいているわ。

それから、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ナズナ、ハコベもあるわ。」

オー君 「さすが花ちゃん。植物の名前にくわしいね。おいらもいろいろおぼえるぞ！」

モンタ博士「植物の名前も人の名前と同じで、名前がわかると楽しいし、お友達になった気分になるよね。それほどたくさんの種類があるわけではないし、みんなでどんな植物があるか調べてみよう。」

オー君 「モンタ博士は、植物の名前がぜんぶわかるの。」

モンタ博士「うん。ほとんどわかるよ。そのうち、第七小学校の中にあるぜんぶの木と草の名前のリストを作るつもりなんだ。」

オー君 「へえー。それは楽しみですね。でも、そのリストって、いったい何なの？」

モンタ博士「目録（もくろく）ともいうんだ。植物の名前をぜんぶ書き集めてものさ。」

花ちゃん 「どのくらいの種類があるんだろう。」

モンタ博士「そうだね。いっしょに調べるのを手伝ってくれるかな。」

オー君 「はい！もちろん。よろこんで！あ！あそこにむらさき色の花があるぞ。」

花ちゃん 「あ！あれはね、ハナダイコンとか、ムラサキハナナというのよ。それに、シヨカッサイとか、オオアラセイトウとも言うのよ。」

オー君 「え！そんなにいろいろな名前があるんだ。なーるほど。近くで見よう。」

モンタ博士「ただ見るだけでなく、花びらの数や花の形などいろいろと観察してごらん。」

オー君 「どれも花びらは4枚だ。」

モンタ博士「花びらが3枚とか5枚のお花もあるかもしれないね。二人で校庭をてくてくして、いろいろと発見してごらん。さあ、なかよく行っておいで。」



ハナダイコン（アブラナ科）

Orychophragmus violaceus

By k.morita

ハナダイコンのつづやき

ハイ！わたしはハナダイコンよ。もともと日本の植物ではなくて、中国などの東アジア地方に生育しているものなの。昔、たれかさんが園芸用で持ち込んだらしいんだけど、それが今で野生化してあちこちに見られるようになったわ。今から30年くらい前は「ハナダイコン」の種がおいしい人こそ、少しずつ分けてあげていたのよね……。若菜のおひたしなどでも結構おいしいのよ。それに、ハナダイコンを抜いてみると、それほど大きくないけど、ダイコンと同じような根があるの。その根をおろし金でおろすと（とても繊維質が多い）、ワサビのような味と香りがするのよ。ぜひ一度チャレンジしてみてね。なお、ダイコンやワサビなど、アブラナ科やキク科などは、ほとんど食べても大丈夫。その反対にケシ科やキンポウゲ科などは、毒のあるものもあるから十分気をつけてね。学校の近くや谷保の駅の南側の公園、それに、ハケ下の用水路では、それはそれはたくさん咲いているので、ぜひ見て下さい。